

ブラジル アマパ・イニシアティブ

現地からのお便り

2015年4月
コンサベーション・インターナショナル

アマパ州の新政府

州政府選挙の結果、今年1月に新しい州政府が立ち上がりました。この四半期は、新しい州政府と私たちの協力関係を安定させるのに重要な時期でした。新しい州政府は、私たちのプロジェクトは州の環境政策に大きく貢献すると考えています。

コミュニティ・ネットワークの支援

保護地域は、生物多様性と生態系サービスを守るために世界的に活用されている戦略です。ブラジルで最も自然が残るとされるアマパ州では、州面積の7割が保護地域や先住民などの土地として法律で守られています。しかし、保護地域を定められた通りに実際に保全していくことは、容易ではありません。

関係者間のコミュニケーションの向上は、保護地域の保全を改善する方策の一つです。コミュニケーションは、政府、市民社会、産業界が自然の恵みを守り、持続可能な形で使うために、統合的な管理を行うための必要不可欠な要素です。



© Adriano Gambarini

アマパ州国立公園とアマパ州有林の間を流れるアラグアリ川

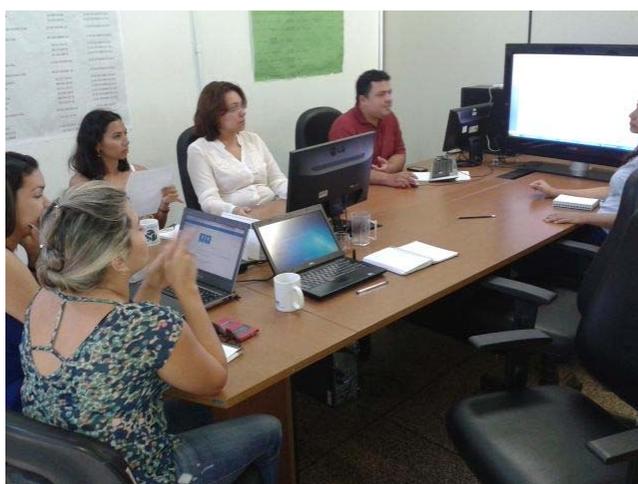
私たちは、コミュニケーション手法を活用したアマパ州有林の管理改善計画について、州の環境局と話し合いを重ねました。その結果、アマパ州有林のコミュニケーション計画の作成と戦略的計画作りのためのワークショップ開催をお手伝いすることになりました。ワークショップには、パラ州などのブラジルの他州、仏領ギアナやスリナムといったギアナ高地の他国も参加します。ギアナ高地全体の統合的な管理の推進がギアナ高地の一面をなすアマパ州

有林の管理に貢献すると期待しています。ワークショップの冒頭では、CI がアマパ州政府、ブラジル生物多様性基金とともに保護地域の財務的な持続可能性を高めるために設立する、トラストファンドの立ち上げも行います。

森林管理とアグロエコロジーの支援

豊かなアマパ州の自然を保全していくためには、持続的な森林の利用と持続的な農業生産が必要と私たちは考えています。アマパ州の森林の利用には、木材と非木材産物を共に持続可能な形で管理することが不可欠です。農業生産では、アグロエコロジーという、化学物質を使わずに、生態系の力を積極的に活用する持続可能な食料生産システムを活用する計画です。アグロエコロジーの実践により、水質の汚染や土壌の劣化を防ぐことが出来ます。

この四半期、アマパ国立公園とアマパ州有林をそれぞれ管轄する機関との話し合いを重ね、2つの保護地域を対象として、森林の活用とアグロエコロジーの支援に協力して取り組んでいくことを再確認しました。これらの話し合いで合意した内容に基づいて、4月から、アマパ国立公園とアマパ州有林の内外のコミュニティとの活動を再開します。持続可能な生産やマーケティングについての研修や技術協力が計画されています。これらを通して、コミュニティの所得向上や食料の確保に貢献できると考えています。



© CI-Brazil

森林の多様な利用とアグロエコロジーについて議論する様子

今後に向けて

私たちは、自然の恵みの持続可能な利用を目指す州の政策を支援するために、アマパ州政府と密に連携しながらプロジェクトを形成してきました。この戦略は、プロジェクトの範囲を広げ、インパクトを拡大させるために重要です。また、州政府が関与することによって、現在計画している活動が終了した後の活動の継続性も高まります。

私たちはこれまで、プロジェクトが成功裏に進んでいると考えています。2015年1月のアマパ州政府の変更によって少し進行が緩やかになりましたが、これは想定範囲内でした。新しい州政府が立ち上がったことで、これからの数ヶ月間に私たちの活動は加速化していくと期待しています。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。